

令和5年度 第1回三田市環境審議会 議事概要

会議の名称	令和5年度 第1回三田市環境審議会（意見交換会）		
会議の日時	令和5年10月17日（火） 16:00～17:30		
会議の場所	三田市役所 2号庁舎 2階 2201会議室		
出席した委員の氏名	佐藤 裕司委員、石田 弘明委員、佐山 浩委員、山田 五郎委員、岸本和史委員		
委員選出団体からの代理参加者	兵庫六甲農業協同組合 1名		
出席した庶務職員の職及び氏名	事務局	まちの再生部	本参事
		ゼロカーボンシティ推進室	辻下室長
		環境創造課	古家課長、辰巳係長、寺嶋主任
傍聴者の人数	1名		
取材者の人数	0名		
議題	1. 開会 2. 挨拶 3. 議事(報告事項) ① 第3次三田市環境基本計画の進捗管理について ② 第4次三田市環境基本計画の策定について ③ さんだゼロカーボンシティ推進計画の策定について ④ その他 4. 閉会		
会議の概要	・第3次三田市環境基本計画の進捗管理の評価結果について報告を行い、それに対する意見交換を行った。 ・第4次三田市環境基本計画について策定の報告を行い、それに対する意見交換を行った。 ・さんだゼロカーボンシティ推進計画について策定の報告を行い、それに対する意見交換を行った。		
公開・非公開の区分	公開		
使用した資料の名称	▶ 次第 ▶ 第3次三田市環境基本計画の進捗管理シート ▶ 第3次三田市環境基本計画の実施状況について(A3) ▶ 第4次三田市環境基本計画(本編)・(概要版) ▶ さんだゼロカーボンシティ推進計画(本編)・(概要版)		

■会の成立について

当日出席委員数が過半数未満となったため、意見交換会として開催

■議事

三田市環境審議会規則第2条第2項の規定により、佐藤会長が進行

① 第3次三田市環境基本計画の進捗管理について

(事務局) 第3次三田市環境基本計画の進捗管理シート及び第3次三田市環境基本計画の実施状況について(A3)を用いて説明

(委員) ホームページアクセス数の増加について内容はどのようなものであったか。

(事務局) 環境創造課及び里山のまちづくり課のアクセス数をみており、上位には環境創造課では所管している霊苑・聖苑の利用に関する閲覧が上位となっている。その次に千丈寺湖の環境を守る条例についてのページが続いた。里山のまちづくり課では皿池湿原についての次に乙原てんぐの森、あと危険木伐採等事業補助金の情報が上位となっていた。

(委員) よりアクセスしやすいホームページとはどのようなイメージか。

(事務局) わかりやすいタイトルや内容というものもあるが、市ホームページから目的のページにいかにかページのクリックを少なく検索したどり着けるかということもあると考えている。

(委員) 指標で再生資源集団回収団体数が減っているのは団体数として減ったが構成人数は増加しているということはないのか。

(事務局) こども会や自治会が自主財源として活動されている例が多かったが、こどもが減ってきた、自治会も加入しない人が増えてきたなどの影響も考えられ、団体数が減少傾向と聞いている。また、ここ2、3年はコロナの影響で団体活動が減ったことも考えられる。個々の構成人数は把握していない。

(委員) 電気自動車の台数や太陽光発電の住宅への普及は停滞の評価となっているが、具体的にはどのように進めていくのか。

(事務局) 市が個々に補助をすとか具体的なことにすぐには踏み込めないが、公共施設では例えば災害時にも機能する設備として太陽光発電や蓄電池の設置を進めてPRするとか、市民センターなど施設の大規模改修にあわせて太陽光発電を導入していくことで普及啓発ができると考えている。同様に公用車への電気自動車の導入も普及啓発のために今後できることとして考えている。

(委員) 国や県などの補助制度はあると思われるが、それらを紹介したりとか、まとめたような情報提供はされているのか。

- (事務局) 県の事業など市ホームページからリンクして紹介しているものがある。今後、市の中でも省エネ改修した場合の固定資産税の軽減など関連付けて紹介することも考えていきたい。
- (委員) 安全・安心・快適のところという「地域の緑化」とはどういうものか。
- (事務局) 成果指標でいう地域の緑化団体は、主に公共地のポケットパークなどで緑化活動をされているものの団体数となっている。
- (委員) 進捗管理のプログラム数と受講者数の推移について、講座数が増えても受講者数は令和2年度以降大きく減っている。講座の中身が大きく変わったのか。
- (事務局) コロナの対応もあり定員を抑えるなど施設利用上の変化が考えられる。
- (委員) コロナの取扱いも変わり、今後は戻していくのか。
- (事務局) コロナの影響があった間は定員を戻しても埋まらない講座もあり、ここ2、3年はそのような状況が続いたと思われる。状況が変われば自然に回復してくるものと考えている。
- (委員) 座学などではオンラインとのハイブリッドなど取り入れてはどうかと思う。
- (会長) 一人当たりの水道使用量というのが増えている原因は何が考えられるか。
- (事務局) これが原因と特定できるものはないが、R4年度に行った施策としてコロナと物価高騰対策として年末年始を挟む11月と2月の検針分について無料化しており、使用量に影響したことも考えられる。
- (会長) この使用量には個人の住宅のみでなく事業所等も含まれるか。
- (事務局) すべての使用料となっている。
- (会長) 本来、一人当たりとするならば事業所と家庭を分けるべきだったかもしれない。
- (委員) (市役所)庁内電気使用量については減ってきたものの目標達成とはならなかったが、目標が高すぎたということか。
- (事務局) 結果的に現状はそのような結果となったが、ゼロカーボンシティ推進計画で今後設定した目標に向けては決して高すぎる目標ではない。照明のLED化など設備面の対策はある程度進んでいるが、夏場の熱中症対策などで一律の節電実施が難しい施設もあり、今後全体でどのように減らしていくかということである。

例えば、働き方改革の視点も取り入れて就業時間を短縮することで節電につながる。職員にとってもワークライフバランスが改善するといった意識を全庁的に広げていくことでそれが節電にもつながるという仕組みができればと考えている。

② 第4次三田市環境基本計画の策定について

(事務局) 第4次三田市環境基本計画(概要版)を用いて内容説明

(会長) 多様な環境学習メニューの充実は第3次計画でこれまで集計された所管部署で実施される学習の他にも環境に関する学習プログラムがあると思う。こうみん未来塾などでも多くのプログラムがあり環境に関連するもの含まれると思われる。今後それらも広く集計されてはどうか。

(事務局) 他にも環境関係で実施されている学習プログラムがあれば、所管課を固定化せず幅広く集計していく。

③ さんだゼロカーボンシティ推進計画の策定について

(事務局) さんだゼロカーボンシティ推進計画(概要版)を用いて内容説明

(内容について特に意見なし)

(会長) 概要版3ページの文章の最終行に誤植あり、修正されたい。

(事務局) 修正する。

④ その他

(事務局) 次年度以降の進捗報告について

(事務局) 来年度からは、当審議会において第4次環境基本計画の進捗管理とあわせてゼロカーボンシティ推進計画についても実績の報告をさせていただく。

(会長) 了承した。

■閉会

議事録については、後日、配布する。